

明高だより

明石市荷山町 1744
TEL(078)911-4376

美術科校外学習

七月十日(金)、美術科二年生が神戸どうぶつ王国においてタブロー(完成作品)へ昇華させるための習作として校外学習を実施しました。

この日行つたのは速写とも言われるクロッキーです。スケッチ(写生)の中でも、特に短い時間(通常十分程度)で描き上げるものを言います。素早い動きを見せる動物を描写するのは容易ではありませんが、じっくり観察して動きの特徴を的確にとらえることが重要なポイントとなります。



校外学習を通して、「感じる」「観察する」「描く」という一連の動きに根ざした表現力をさらに高めることができました。

理数探究類型実験講座

七月三十一日(金)、理数探究類型二年生が実験講座を受講しました。

生徒は化学分野「イオン結晶の定性分析」と生物分野「ミクロメーターを使いこなす」をテーマに二つの実験を行いました。



この講座は、課題研究や大学での研究活動の基礎づくり、課題解決能力や科学的観察能力の養成等、大きな意味合いを包含しています。

理数探究類型では、ひょうごスーパードライスクールの研究指定を受け、国内外の大学や企業と連携した課題研究や教育活動を展開し、グローバル社会をデザインする科学系人材の育成を目指します。

文理選択講演会

七月十五日(水)、南直樹氏を講師に、一年生対象の文理選択講演会を開催しました。

①「自分を知る」では自己理解・自己分析、②「社会を知る」では大学生の現状・今後の社会(グローバル化/労働力人口の減少/加速度的技術革新)A Iに奪われる仕事と残る仕事、③「自分のこれからを考える」では将来の夢・社会課題・学びたい学問からの職業選択、④大学学部と入試科目、⑤社会で求められる力

⑥「知識技能」「思考力」「判断力」「表現力」「主体性」⑦社会人に求められる基礎力⑧「前に踏み出す力(アクシオン)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」について講演されました。



今後の社会を生きるには大学入試だけをとらえた文系・理系の枠組みを超えた広く多様な学びが重要であるというメッセージをいただきました。



一・二年保護者会

七月二十二日(水)に一年、七月二十七日(月)に二年の保護者会を開催しました。

一年の保護者会では、学年主任より挨拶と生徒の現状、進路指導部長より卒業生の進路状況・新大学入試の概要・本校の進路指導、教務担当より単位の履修修得・進級認定、生徒指導担当より学校生活・夏休みの生活、進路担当より学習・進路選択、その後、普通科と美術科に分かれ二年次の選択等について説明しました。



二年の保護者会では、学年主任より挨拶と生徒の現状報告、進路担当より進路指導計画・新大学入試の概要・進路実現と学習、教務担当より三年次の選択科目、生徒指導担当より学校生活・夏休みの生活その後、普通科と美術科に分かれて修学旅行等について説明しました。



三年レク大会

新型コロナウイルス感染拡大を受け、五月末まで臨時休校が続く、感染予防と授業時間確保の観点から明高祭や球技大会等の学校行事も軒並み中止せざるを得ない中で、三年学年団の教員がLHRの時間を活用したレクレーション大会を企画し大変盛り上がりました。

同じ回答数を競う「〇〇と言え」クイズ、十倍速/五倍速の曲当て、頭から被ったパンスト相撲、明高にまつわる二択サイババルクイズ等、会場の中部講堂には歓声が絶えませんでした。

ちなみに、明高正門横にある碑には何と書かれているかご存じですか。正解は「君と共に歩む」です。



明石高校ホームページ



[明石高校] で検索

http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/
活動の内容は兵庫県立明石高等学校ホームページでご覧になれます